

○小石 剛こいし ごとう(NPO法人関西ウェルビーイングクラブ、こいし  
 歯科)、柏葉三千子(マームホームかしば)、木下佳代子(いけ  
 だ地域栄養士会 葉菜の会)、早矢仕啓子(健口支援の会 あ  
 っはっ歯〜)、立石美佐子(NPO法人北摂こども文化協会)

【背景】

情報社会の現代において、氾濫するさまざな情報に、子育て中の親たちは翻弄されている。核家族化で頼りにできる親も近くにおらず、また無縁社会とまで揶揄されるほど社会のつながりが希薄化している中で、子育てをする親たちは不安を抱えながら世にあふれかえる情報に頼らざるを得ない状況がある。また、少子化は、完璧な子育てしたいと願う親たちを増やしてもいる。そのような現状を受け、いま子育て中の親たちやこれから子育てを始めるようとしている方々が困らないようにするために、子育てに関する仕事を持つ者たち(助産師、管理栄養士、社会活動教育者、セラピスト、歯科衛生士、歯科医師)が集まり、「子育て支援”はぐはぐ”という会を設立した。

【目的】

世にあふれかえる情報に翻弄されず、必要な情報を賢く取捨選択し、安心して子育てができるような、知識と知恵を併せ持つ真に「かしこい親」を育てる支援を行う。

【方法】

プロジェクトの一つとして、2010年6月より「はぐはぐ親育ち講座」を開始した。妊婦から乳児の保護者を対象として、週一回の連続4回講座で開催した。各回の講座ではそれぞれの専門の情報を提供していき、ワーク形式も取り入れた。

【結果】

「はぐはぐ親育ち講座」は2010年10月にも開催され、リピーターも出るほど参加者から良い評価をいただいた。子育て中の保護者へ、それぞれの専門からの最新かつ詳しい情報を提供できた。個別相談を設けることで、参加した保護者のニーズも把握することができた。また参加者同志がつながりを持つことができ、新たなコミュニティにも発展することができた。

【考察】

これからも同じ思いを持つ、子育てに関する仕事を持つ者たちが力を合わせて、「子育て支援 はぐはぐ」に参加し、子育て支援、親育て支援を継続し発展させていきたい。

【ラウンドテーブルでの検討課題】

- ・地域に根差した子育て支援の在り方
  - ・他職種との連携について
  - ・事業の発展・展開について
- などを検討したい。

(参加希望職種)保健、教育、医療の関係者のご参加をお願いいたします。

(連絡先)

小石剛(こいし歯科)  
 大阪府池田市栄本町9-2-A  
 072-751-2038 go.koishi@gmail.com